

2019 企画展

6.8(土)→7.21(日)

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)  
休館日 月曜日(但し、7月15日(月・祝)は開館、翌16日(火)は閉館)  
観覧料 一般 1,200円・高大生 700円・小中生 500円  
※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引  
※土曜日は小中高生入館無料

主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫  
協力 名古屋市交通局

# きれ 裂の美

The Beauty of Ancient Fabrics



徳川美術館

THE TOKUGAWA ART MUSEUM  
TEL (052)935-6262 FAX (052)935-6261  
〒461-0023 名古屋市東区徳川町

蓬左文庫

HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA  
TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174





# きれ裂の美

The Beauty of Ancient Fabrics

裂手鑑「古織紋鑑」地  
江戸時代 19世紀  
期間中場面替あり



漢作瓢箪茶入 銘 玉津島 中国・南宋・元時代 13-14世紀  
(柿色地間道織留仕覆・萌黄地鳥文金襴仕覆・  
白地間道織留仕覆・珠光緞子仕覆) 期間中仕覆の入替あり



白地牡丹唐草文金襴唐人相撲装束  
江戸時代 17世紀  
6/8 ~ 6/30

本展では、尾張徳川家の裂地コレクションをひもとき、様々な裂地を紹介いたします。

金襴や緞子、更紗といった海外から渡ってきた華やかな裂地は、書画の表具や茶道具の包みに用いられてきました。特に茶人たちに鑑賞の対象としても重宝された「名物裂」は、手鑑などに貼られ大切に保存され伝わりました。このため、染織という脆弱な性質ながら、現在でも様々な裂地を見ることが出来ます。

尾張徳川家では、手鑑に貼り込まれた状態のみならず反物や端切れの状態で、「名物裂」をはじめとする数多くの裂地を守り伝えてきました。一般にはわずかな断片でしか見られない稀少な裂地も、ときに織留を含めた、良好な状態で遺されています。また、掛物や巻物の表具をはじめ、茶道具の仕覆や御物袋、能装束などに用いられた裂地からは、往時の尾張徳川家の洗練された美意識を垣間見ることが出来ます。



鉅字筆 米法山水図 表具(上下: 茶地牡丹宝尽文金襴  
中廻: 茶地二重蔓牡丹唐草文金地金襴  
一文字・風帯: 萌黄地一重蔓牡丹唐草文金襴) 7/2 ~ 7/21

- 〈表〉
- |   |   |
|---|---|
| 5 | 2 |
| 1 | 3 |
| 4 | 6 |
- 1: 吉野問道 中国・明時代 16世紀 6/8 ~ 6/30
  - 2: 花色二重蔓牡丹唐草文金地金襴 中国・明時代 15世紀 6/8 ~ 6/30
  - 3: 紺地唐草文金紗 中国・明時代 16世紀 7/2 ~ 7/21
  - 4: 白地丸紋尽更紗(近衛信尹筆 和歌短冊 表具) インド 17世紀 6/8 ~ 6/30
  - 5: 白地花唐草文蒙流 ペルシャ 16-17世紀 7/2 ~ 7/21
  - 6: 白地花唐草文更紗 インド 17世紀 7/2 ~ 7/21



紺地花塀文金襴(旧仕覆) 徳川光友(尾張家2代)所用  
中国・明時代 16世紀  
7/2 ~ 7/21

## イベント案内

### 土曜講座「尾張徳川家と裂」

学芸員 加藤祥平

6月8日(土) 午後1時30分 ~ 3時 ※有料

### ギャラリー・トーク

担当学芸員が解説します。

6月20日(木)・6月30日(日) 各午後1時 ~

※入館者参加自由(入館料別途要)

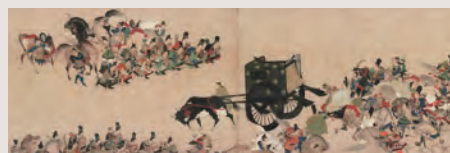
## 次回展覧会予告

### 夏季特別展

#### 「合戦図

ーもののふたちの勇姿を描くー」

7月27日(土) ~ 9月8日(日)

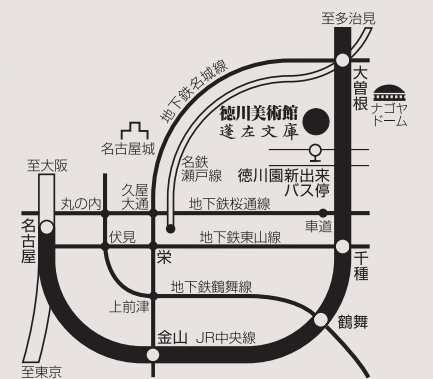
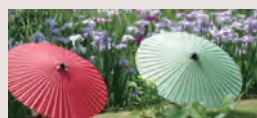


国宝「平治物語絵巻」(部分) 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives

## 徳川園催事

### 雨を聴く 徳川園の和傘

6月6日(木) ~ 7月7日(日)



〒461-0023 名古屋市中区徳川町

- 基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- メーグル「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車
- JR中央線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分

